

平成 26 年度

施 政 方 針

長 洲 町

平成26年第1回長洲町議会定例会の開会にあたり、平成26年度の施政方針を申し述べ、町民の皆様並びに議員の皆様には町政へのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年の5月、長洲町長として2期目の町政がスタートしてから、早1年近くが経過しようとしております。その間、私は、町民の皆様が「住みたい・住んでよかった」と思えるまちをつくるため、下水道特別会計の赤字解消等をはじめとする財政再建や社会資本の整備、福祉の充実など、多くの事業に取り組んでまいりました。それにより、下水道特別会計の赤字は、計画通り平成26年度末には解消する見通しであります。また、各行政区の介護予防拠点施設の整備に関しましても、現在までに25カ所を整備することができ、健康づくり事業や生涯学習事業など各種事業を展開し、様々な事業を実施することができました。これも、ひとえに町民の皆様並びに議員の皆様のご理解とご協力によるものであると、深く感謝申し上げる次第であります。

平成26年度におきましては、今まで実施してまいりました事業をさらに発展させますとともに、長洲町がより飛躍できるための新たな事業等に取り組まなければならないと考えております。

これから長洲町が発展し、飛躍していくためには、次の四点が大きな礎になると考えており、長洲町の輝ける未来を見据えた基礎づくりへ取り組んでまいり所存であります。

まず、一点目が、「有明海沿岸道路の延伸」であります。

現在、大牟田市の三池港まで完成しております「有明海沿岸道路」は、佐賀県、福岡県、熊本県の有明海沿岸部の主要都市を連結し、佐賀空港や三池港、長洲港、熊本港の物流・交通の拠点を連結する地域高規格道路として期待されております。

この有明海沿岸道路が長洲町まで延伸することで、長洲工業団地・名石浜工業団地等の生産拠点への利便性が図られ産業支援につながりますとともに、有明・島原地域の広域観光の振興、さらには有明海圏域の連結強化による圏域全体の活性化につながってまいります。

このようなことから、有明海沿岸道路は、長洲町にとって大きな財産となり、町発展の起爆剤となりますので、今後も、長洲町内の関係者はもちろんのこと、熊本県、荒尾市、大牟田市の各行政機関や経済団体等一体となって、早期延伸に向け取り組んでまいります。

次に、二点目が「定住化の促進」であります。

先に述べました、有明海沿岸道路の延伸が図られることや、現在整備が進められております国道501号から繋がる「都市計画街路長洲・玉名線」の整備によって、長洲町は交通の利便性の高い地域となり、地域の魅力がますます高まってまいります。

このように地域の魅力が高まるなか、長洲町にさらに多くの人々が住むようにするために、長洲駅の南側に位置する出町地区、一ノ割地区、漣の上地区を重点化地区として宅地開発を進めていく必要があると考えております。

その先駆けとして、今年度は、出町地区の土地区画整理事業に取り組み、事業認可を目指してまいります。この出町地区の宅地開発は、一ノ割地区、澁の上地区の開発へつながっていくものであります。

そして町内全体への波及が期待され、長洲町の定住化に向けた良好な市街地形成へとつながり、定住化が促進されるものと考えております。

三点目が、「ICTを活用したまちづくり」であります。

平成26年2月、町内のほぼ全域に光ファイバーが整備されたことで、光回線やケーブルテレビなどの有線通信をはじめ、以前より整備されておりました無線通信のWiMAXなど、各種通信網の整備が完了し、町民の皆様がインターネットなどを利用しやすい環境が整ったところであります。

そのような中、長洲町におきましては、昨年度、介護予防拠点施設をモデルとして、光回線を活用したソフト事業を行ったところでありますが、その検証を基に、更なる情報化基盤の整備を進め、健康づくり推進事業など保健、福祉事業をはじめ、教育、防災面などにおきましても活用できるシステムづくりを構築してまいります。ICTを活用したまちづくりを推進することは、魅力あふれ、快適で豊かな暮らしにつながっていくものと考えております。

四点目が、農業・漁業を中心とした「一次産業の活性化」であります。

現在、長洲町におきましては、約5億円の出荷を誇るミニトマトをはじめ、農地の暗渠排水対策等の実施により米・麦の生産性が高まってまいりました。また、有明海の恵みを受けて生産されております、海苔やアサリなど、水産物の生産向上も図られているところであります。その反面、一次産業は従事者の高齢化や減少、地域間競争が厳しくなっていくなど、厳しい環境に置かれているのが現状であります。

農業・漁業の衰退は、地域社会の衰退に直結しかねない問題でありますので、今後、農業基盤の整備はもとより、地域農業の未来の設計図であります「人・農地プラン」をより充実し、農業の推進を図ってまいります。漁業におきましては、有明海を代表するアサリを再生させるため養殖技術の検証を行うとともに、稚魚等の放流を行い、「つくり育てる」漁業を推進していきたいと考えております。

以上、これからの長洲町の基礎となっていく四点の主要な取り組みを申し述べさせていただきました。今後も、これらの事業をはじめ、長洲町がさらに発展し、未来へと飛躍できるような、まちづくりに取り組んでまいりますとともに、町民の皆様が心から安心して暮らすことができ、満足感を得られるまちづくりに取り組んでまいり所存でありますので、皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、現在の社会情勢に目を向けますと、安倍政権が誕生して以来、「アベノミクス」と呼ばれる一連の経済政策により、長らく停滞していた経済状況も少しずつ回復し、有効求人倍率もリーマンショック以前の水準まで回復の兆しが見えるなど、景気回復の実感が出てきているところであります。しかしながら、4月に迫っております消費税の増税をはじめ、依然として慎重な協議が諮られ

ておりますT P P参加問題など、日本経済におきましては、まだまだ厳しい課題が山積しているところであります。

そのような中、国の一般会計におきましては、過去最大の予算規模となります95兆8,823億円が計上され、デフレ脱却、経済再生と財政健全化を併せて目指す予算が示されましたが、地方交付税交付金が約2,500億円圧縮されるなど、地方自治体にとっては、厳しい予算編成となっております。

このように、厳しい状況ではありますが、今年度の長洲町の予算編成におきましては、国の事業や施策に基づきながら、第5次長洲町総合振興計画に基づき、町民のニーズに対応した予算編成を行ったところであります。

それでは、平成26年度の予算規模につきましてご説明いたします。

一般会計につきましては、平成25年度が骨格予算でありましたので、前年度比15.5%増の61億9,000万円となっております。また、特別会計につきましては、前年度比4.5%増の51億8,790万円、企業会計の水道事業会計につきましては、前年度比115.1%増の7億8,286万円となっております。

一般会計の歳入といたしまして、町税につきましては、大手企業の統合による影響から法人町民税の減収が見込まれ、前年度比1.4%減の20億7,133万円となっております。一方、地方交付税は前年度比7.1%増の16億2,500万円と見込んでおります。国庫支出金、県支出金、繰入金につきましては、民営保育所の建築に対する補助などの影響により、前年度に比べ増加しております。

一方、歳出では、民生費につきまして、民営保育所の建築に対する補助金などにより、前年度比24.9%増の23億5,910万円、総務費につきましては、役場庁舎の耐震改修工事や法人町民税における過年度還付金が予測され、前年度比21.9%増の14億560万円を計上しております。

平成26年度は、町の歳入の根幹であります町税における法人町民税の減収や過年度還付金などの支出により、大変厳しい予算編成となっておりますが、緊急行財政行動計画のとおり、公共下水道特別会計への繰出しを継続し、平成26年度の累積赤字の解消を図りますとともに、最小の経費で最大限の効果を発揮するような予算案を計上したところであります。

続きまして、平成26年度の具体的な事業・施策を町総合振興計画の6つの基本目標に基づき説明してまいります。なお、教育委員会の事業につきましては、別途教育方針により詳細を説明させていただきます。

### 【1】未来を拓く人づくりを目指す夢のあるまち

まず、「未来を拓く人づくりを目指す夢のあるまち」といたしまして、子どもたちが「自ら学び、考え、行動する力」を育む教育の充実を図るため、引き続き、「夢の教室」を開催することにより、「夢」を持つことの大切さやフェアプレー精神、仲間と協力することの大切さなど、心の教育の充実を図ってまいります。また、大分県宇佐市長洲中学校との交流をさらに深めてまいりますとともに、全国ものづくり塾や熊本大学などと連携し、ものづくりによる木育に取

り組んでまいります。

児童、生徒によるいじめや不登校に関する問題が、全国的に深刻な問題となっております。そこで、特別支援教育支援員や学校教育推進員の適正な配置を図り、いじめや不登校、問題行動の未然防止と解消に向け、児童生徒自立支援員との連携による対応や専門家と連携した取り組みを行うことで、心の居場所としての学校づくりを推進してまいります。また、特別教室へのエアコン整備や清里小学校の放課後子ども教室の開講、学校図書室への計画的な図書整備など、学習環境の充実を図ることで、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健康・体力」の育成に努めてまいります。

生涯学習の推進につきましては、各行政区に整備されております介護予防拠点施設を活用し、地域に出かける「自治公民館講座」の開催や中央公民館での「終活講座」の開催など、学びの場の提供に取り組んでまいります。また、町図書館では、「読書スタンプラリー」や「学校配本」事業に取り組み、子どもたちの読書活動を推進してまいります。併せまして、有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、4月1日より大牟田市、荒尾市、南関町、長洲町の2市2町間の図書館による相互利用をスタートし、図書館利用者の利便性に努めてまいります。

文化・芸術の振興につきましては、4月1日から「ながす未来館」に指定管理者制度を導入し、ホール利用日の拡大、施設閉館時間の延長など、住民サービスの向上と効率的な施設運営に取り組んでまいります。また、ホールでの自主事業運営につきましても、国・県、民間財団の補助制度を活用しながら、多くの方々に来て・見て・楽しんでもらえる空間づくりに取り組んでまいります。さらには、長洲町文化協会をはじめ、各種サークル団体と連携し、新たな学びの場・学習成果の発表の場を提供することで、学習意欲のある人たちの輪を町内に広げながら、文化・学習活動の盛んなまちづくりに取り組んでまいります。

スポーツの推進につきましては、町のスポーツ振興の基礎となります「長洲町スポーツ振興計画」を策定し、町体育協会、スポーツ推進員、総合型地域スポーツクラブ「長洲にこにこクラブ」の連携のもと、スポーツ活動が盛んなまちづくりに積極的に取り組んでまいります。なかでも、「長洲にこにこクラブ」をその中核と位置づけし、組織整備と活動を支援し、子どもから高齢者までスポーツ人口の拡大を図ってまいります。また、老朽化した社会体育施設の改修を行うとともに、指定管理者による各種運動教室の開催など、住民サービスの向上と効率的な施設管理に取り組んでまいります。

## 【2】人と人が支え合う希望のあるまち

次に、『人と人が支え合う希望のあるまち』といたしまして、町民、地域、関係団体、行政が深い絆で結ばれ、お互いに支え合うことのできるまちづくりに取り組んでまいります。

地域福祉の推進につきましては、国の安心生活基盤構築事業を引き続き活用

しながら、一人暮らし高齢者の見守り体制や、高齢者や障がい者の方々を地域で支えていく体制の構築に取り組んでまいります。また、平成27年度の介護保険改正に対応するため、県の地域人づくり事業を活用し、社会福祉協議会やシルバー人材センターの基盤整備として、ヘルパーの増員を図ってまいりますとともに、認知症問題に対しましても、認知症サポーター養成講座の開催など、町民の皆様が共に支えあう地域づくりを推進してまいります。

健康づくり事業につきましては、生涯にわたっていきいきと健康に過ごせるために、特定健診や各種がん検診の受診勧奨に努め、受診率向上と、生活習慣病の予防や早期発見・早期治療につなげることで医療費の抑制に努めてまいります。そのため、今年度新規対象者のほか、21年度から24年度までの子宮がん、乳がん検診の未受診者に対して無料クーポンを再度配布するとともに、大腸がんにつきましても、昨年引き続き無料クーポンを配布してまいります。また、ICTを活用した健康づくり推進事業として、梅田区公民館でモデル事業を実施いたしました。今年度は、2か所において健康相談事業や健診結果に基づいた個別相談や健康講話等の事業を展開してまいります。さらに、特定健診後の結果説明や細やかな保健指導につきましても、介護予防拠点施設などを活用し、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組んでまいります。

母子保健事業につきましては、母子手帳交付の際の保健指導や栄養指導を始めとした継続的支援により、早産で生まれてくる子どもを減らすことで、将来、生活習慣病になるリスクの減少を目指しますとともに、生後も健全な発育を遂げていくことができるよう、健診等の機会を通して保健師、管理栄養士、歯科衛生士が専門性を活かして働きかけを行ってまいります。また、医師、保健師、助産師、母子保健推進員等と連携し、各種訪問などに取り組んでまいりますとともに、発達相談につきましても、臨床心理士の相談日を設け、保育所、幼稚園、小学校等との連携を図ってまいります。

人間は生きて行く為に“食”を欠くことができません。その食を摂るための健康な歯を生涯にわたり保つためには、乳幼児期から歯の健康づくりをはじめることが重要であります。歯の健康づくりにつきましては、むし歯予防に効果のあるフッ化物洗口を現在、全保育所、幼稚園、清里小学校において行っておりますが、他の3小学校に対しても実施してまいります。さらには、保育所、幼稚園のフッ化物塗布、保育所、幼稚園、小中学校へのブラッシング指導のほか、新たに妊婦に対する歯周疾患検診などを実施してまいります。

予防接種事業につきましては、定期予防接種、任意予防接種の予防接種率の向上を図りますとともに、任意予防接種では、おたふくかぜ、水ぼうそう、風しん予防接種のほか、高齢者への肺炎球菌ワクチンの一部公費負担を行い、発症、重症化予防に取り組んでまいります。インフルエンザ予防接種につきましても、定期予防接種の対象である高齢者だけではなく、幅広い年齢層への助成を継続して実施し、接種しやすい体制づくりに努め、感染症予防の充実を図ってまいります。

高齢者福祉につきましては、できる限り要介護状態にならないため、各行政区の介護予防拠点施設をフルに活用し、介護予防事業や、生活支援、虐待防止及び消費者被害等にあわないための権利擁護などの取り組みを推進してまいります。また、住み慣れた地域で介護、医療、住まい、生活支援、介護予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。

障がい者福祉につきましては、県の起業支援型地域雇用創造事業や地域人づくり事業を活用して、障がい者支援施設等の職員確保・サービスの向上を図ってまいりますとともに、障がい者自身の就労につきましても関係事業所と連携を図りながら支援してまいります。

国民健康保険につきましては、医療費抑制として重症化の予防を図ることで、安定した制度運営を図ってまいります。また、後期高齢者医療につきましても、保険料の徴収等を円滑に進めることで、熊本県後期高齢者広域連合の健全運営を支えてまいります。

子育て支援につきましては、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに向け、各種施策や子育て支援サービスの拡充を図ってまいります。現在、核家族化等による子育ての孤立化や育児情報の氾濫等により、出産や子育てに対する不安や負担感を持つ保護者が増加する中、母子保健推進員による乳児家庭全戸訪問や臨床心理士による巡回相談を引き続き実施し、育児不安の解消に取り組んでまいります。さらには、子育て世帯の経済的負担の軽減と児童の健全な育成を図るため、引き続き子ども医療費助成を実施してまいります。

また、昨年4月から民営化がスタートしました長洲・清里・腹赤・上沖洲の4つの保育所につきましては、順調に運営がなされているところであり、平成27年度の統合に向け、各運営法人が行う園舎整備への支援を実施してまいります。一方、公立保育所であります六栄保育所につきましては、施設の安全点検や修繕を行い、良好な保育環境の整備を進めてまいります。

学童保育につきましても、3月1日に清里小学校内に新しい施設をオープンしたところであり、保護者のニーズに沿った事業の運営に取り組んでまいります。

そのほか、平成27年度に本格スタートします「子ども・子育て支援新制度」に向けて、地域の子育ての状況に応じた「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援を総合的に推進してまいります。

### 【3】地域の資源を活かす活力のあるまち

次に、『地域の資源を活かす活力のあるまち』といたしまして、農業・水産業をはじめ、商業、観光など、町発展の原動力となる、地域資源を活かした活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

農業の振興につきましては、現在、国が示している「農地中間管理機構の創設」、「経営所得安定対策の見直し」、「水田フル活用と米政策の見直し」、「日本型直接支払制度の創設」の4つの大改革にしっかりと対応し、強い農業づくり

を目指し、さらなる「人・農地プラン」の充実を図ってまいります。

また、引き続き、第二腹赤地区の事業採択に向けた取り組みを継続して行うとともに、圃場整備完了地区の暗渠排水事業を実施し、農地の高度利用を推進してまいります。さらに、農業用水の安定確保と農業生産基盤の整備を強化するため、ため池や用排水施設などの改修等を実施し、農業経営の安定化を図るとともに、多面的機能支払事業を活用して、老朽化した用排水路、農道等の長寿命化のための維持管理・補修・更新等の地域における取り組みを支援してまいります。

農作物の生産支援といたしましては、国の経営所得安定対策による水稻や小麦、大豆、野菜等への助成事業を推進するとともに、各協議会や部会に補助金を交付し、生産力強化や生産技術向上の支援を図ってまいります。また、主要農作物であるミニトマトの更なる生産力向上を図るため、各種補助事業を活用した施設整備等の支援を継続していくと同時に、長洲ミニトマトのブランド化を目指した普及として、東京などをはじめとした都市部でのPR活動に着手してまいります。

海面漁業の振興につきましては、減少傾向にある漁業経営体の強化に対する支援、有明海の水産資源の回復など漁場環境保全を図るため、アサリ母貝を放流し、エイ等の有害生物から保護する取り組みなどを継続して行いますとともに、昨年より開始しました、長洲地先種のアサリ人工種苗の放流や放流用基質などを活用したアサリ養殖技術の試験導入などを行い、引き続き、将来的な漁獲高の向上に取り組んでまいります。

内水面漁業の振興につきましては、町の観光資源でもあります「長洲金魚」を町内外の各種イベントや観光キャンペーンでPRし、販売を推進してまいりますとともに、金魚養殖業調査研究事業として、全国的な金魚業界、愛好家とのネットワークを構築し、ロードマップの作成や新品種の改良など、具体的な販路拡大に向けて取り組んでまいります。また、長洲町養魚組合と連携し、愛知県弥富市、奈良県大和郡山市など全国有数の金魚産地や先進地との連携、情報交換などを引き続き実施してまいります。

商工業の活性化につきましては、4月からの消費税引き上げに伴い、消費の低迷が予想されますので、引き続きプレミアム商品券発行に対する支援を実施してまいります。また、長洲町商工会と連携を図りながら、軽トラ市をはじめとした各事業の支援を図ってまいりますとともに、国の「地域人づくり事業」を活用し、町内商工業者への若い世代の入職支援を図り、商工業の活性化を図ってまいります。

観光の振興につきましては、町の各種情報発信施設としてリニューアルオープンしました金魚の館が開館から丸2年を迎え、約30万人近くの方に来場いただき、町内外の皆様にご親しんでいただいております。今後も、この施設を中心に、長洲町のマスコットキャラクター「ふれきんちゃん」を活用し、各種イベントの実施や観光キャンペーンを通して、町の情報発信・魅力発信を図って



まいります。

また、これまで、管内市町はもとより、県境を越えた長崎県雲仙市、島原市、大牟田市といった近隣市町とのつながりの強化を図ってまいりましたが、今年度は、さらに、有明フェリーで結ぶ広域観光ルートを造成し、有明、島原地域の魅力を高め、多くの観光客の誘致を目指してまいります。

そのほか、熊本ものづくり塾と協働で取り組んでおります、「ものづくり塾」を引き続き開催してまいりますとともに、全国ものづくり塾をはじめ、熊本大学との連携を図り、ものづくり事業の推進、普及を図ってまいります。

企業誘致と雇用の創出につきましては、誘致企業、商工業者、熊本県の関係機関で構成する（仮）長洲町企業等連絡会議を立ち上げ、研修会、各種情報交換及び交流活動を通じて、企業等との連携を強化し、事業活動を側面から支援してまいりますとともに、熊本県との連携を図りながら、名石浜工業団地への新規企業の誘致に取り組んでまいります。

また、ハローワーク、各企業、財団といった各種機関と連携し、合同就職面接会の開催や情報の共有化を図りながら、多くの方が地元で働くことができるよう、就業機会の増大に向けて努めてまいります。

#### 【4】安心して生活できる安全のあるまち

次に、『安心して生活できる安全のあるまち』といたしまして、防犯、防災体制が整備された、安心、安全なまちづくりに取り組んでまいります。

交通安全の推進につきましては、通学路などの危険個所を中心に、曇り止めカーブミラーを整備するなど、道路の安全性を高めるとともに、小、中学生や高齢者などを対象とした交通教室の開催や交通安全グッズの配布などを通して、交通安全意識の啓発に努め、交通事故の起きない安心、安全なまちづくりに取り組んでまいります。

防犯の推進につきましては、町全体を明るくすることで犯罪行為を防ぎ、安心して通学、通勤できるまちづくりを推進するため、防犯灯のLED化に要する費用の一部を区に補助します。また、荒尾警察署長洲交番・腹赤駐在所連絡会議をはじめ、地域住民、警察、町などが相互に協力し、犯罪、事故等の未然防止、被害の拡大防止など、地域で防犯活動を推進し、犯罪の起きにくい環境づくりに取り組んでまいります。

防災の備えにつきましては、災害発生時の対策本部として中核を担う役場庁舎に防災拠点施設に適した耐震補強工事と蓄電システムを備えた太陽光発電設備を導入し、防災機能のより一層の強化を図ってまいりますとともに、台風時における新川漁港周辺の高潮浸水被害を防ぐため、護岸のかさ上げを行ってまいります。また、自主防災組織における各種防災マップを活用した防災訓練により、引き続き地域住民の防災意識の高揚を図ってまいります。

火災予防対策といたしましては、常備消防と連携を図り、消防団の消防車両等の更新や消火栓の設置など、消防施設の充実による消防力の強化に努めてまいります。

身近で安心して相談できる窓口のあるまちにつきましては、消費者行政における相談事業などを持続的に取り組んでいくことに加え、生活困窮者自立支援法の施行を受けた取り組みを模索していくとともに、各関係機関とのネットワークの充実と強化を図ってまいります。

#### 【5】快適な暮らしができる安心のあるまち

次に、『快適な暮らしができる安心のあるまち』といたしまして、定住化の促進に取り組んでまいります。

計画的な土地利用につきましては、出町地区、一ノ割地区、澁の上地区を重点化地区として捉え、定住促進に向けた基盤整備として、宅地開発を進めてまいります。特に、出町地区につきましては、町営住宅の跡地である町有地や隣接する遊休地を活用し、地域住民の皆様のご理解とご協力を得ながら準備委員会を設立し、土地区画整理事業認可に向けた事業計画書の作成を行い、事業認可を目指してまいります。

一ノ割地区、澁の上地区につきましては、地権者等の意向を踏まえながら地区の開発手法を検討してまいります。

また、空き家等の対策といたしまして、地域住民の安全で安心な生活環境を確保することを目的に、「長洲町空き家等対策に係る基本指針」に基づき、空き家等の適正管理に関する条例の制定や各種事業の制度設計を進めてまいります。

地域の公共交通につきましては、予約型乗合タクシー「きんぎょタクシー」の運行が3年目を迎えました。昨年、実施いたしましたアンケート調査の結果をもとに、町民の身近な足として、さらに利用しやすい運行方法を検討し、必要に応じた改善を図ってまいります。

また、町内を運行しておりますJR九州、有明フェリー及び産交バスの各交通事業者と連携し、町民の皆さんが、安心して生活できるよう移動手段の確保に努めてまいります。

道路整備につきましては、計画的な都市基盤の整備を推進していくため、現在工事が進められております、都市計画街路長洲・玉名線の早期建設を県と協議しながら進めてまいりますとともに、先に述べました有明海沿岸道路をはじめ、都市計画道路赤田・上沖洲線など、主要道路の早期着工に向けて、県へ要望活動を図ってまいります。

町道整備につきましては、地域の実情や交通状況に配慮しながら、歩道や側溝の整備、舗装の維持、管理を進めるとともに、道路パトロールによる危険箇所への把握に努め計画的な維持補修を進めてまいります。

港湾整備につきましては、長洲港の港湾機能の維持・向上を図るため、港湾内の土砂浚渫・整備を行い、港湾機能の保全を図ってまいります。

また、現在整備を進めております漁業基地の早期完成に向け、熊本県や熊本北部漁協などと連携して事業の推進を図っていくとともに、長洲港内の荷揚げ場を「憩いの広場」（仮称）として整備し、港周辺の整備を進め、長洲港の「み

などオアシス」実現に向けた取り組みを進めてまいります。

河川につきましては、景観形成の向上を図るため、河川敷の除草など環境整備に取り組んでまいりますとともに、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき計画的に橋梁の修繕・改修を行い、安心して利用できる橋梁の維持管理に努めてまいります。

町営住宅につきましては、良質で安全な住宅を提供するため、「町営住宅長寿命化計画」に基づき効果的な町営住宅管理に努めるとともに、中・長期的な視点での町営住宅の整備に取り組んでまいります。

水道事業につきましては、安定した水道水の供給を図るため、立野区、赤田区、永方区の未給水世帯への接続を計画的に実施してまいりますとともに、腹赤浄水場の管理棟、ろ過機などの早期建設、耐震性の低い橋梁配管の改修に取り組んでまいります。また、引き続き無効水量の削減に努めますとともに、有収率の向上や経費の削減等による事業の経営健全化に努めてまいります。

公共下水道事業につきましては、住民の皆様が快適なくらしが送られるよう、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図り、浄化槽施設整備事業とともに未整備地域を整備してまいります。また、地域の特性や経済性を考慮した地域ごとの整備手法を定めた、くまもと生活排水処理構想2011に基づき、下水道事業計画の見直しに取り組んでまいりますとともに、老朽化対策といたしまして、平成24年度に策定しました長寿命化計画に基づき、効率的な更新による適正な維持管理を図ってまいります。

さらに、経営の課題でありました累積赤字につきましては、平成26年度で解消する見込みではありますが、今後も、水洗化の促進による使用料収入の確保や地方公営企業法の適用に向けた準備作業など、下水道事業の経営健全化に努めてまいります。

ごみの減量化・再資源化につきましては、地球環境への負荷を少なくする「循環型社会」の構築を図るため、広報や環境フェスタ等による啓発を実施し、引き続き、生ごみ処理機設置事業補助による生ごみの堆肥化及び減量化の推進を図ってまいります。また、一般家庭から排出されるその他紙類等を一時的に保管する施設を行政区に設置する資源ごみ保管用施設設置事業補助により、行政区を中心とした資源ごみの集団回収を促進し、ごみの再資源化を併せて実施することで、更なるごみの減量化に努めてまいります。

水質・環境保全対策につきましては、工場排水の適切な処理が行われるよう各事業所への監視指導を徹底し、定期的な水質検査の実施とともに、測定値を公開することで、環境汚染の未然防止に努めてまいります。また、安心・安全な水資源を確保するため、上水道未整備区域における井戸水の検査費用に対し、補助を実施いたします。

環境美化の推進につきましては、不法投棄、犬のフンの放置等への対策として、注意喚起の看板設置などの啓発や監視パトロールにより、生活環境の保全

に努めるとともに清潔で美しい環境にやさしいまちづくりに取り組んでまいります。

再生可能エネルギーの推進につきましては、大規模太陽光発電施設であります「有明ソーラーパワー」を再生可能エネルギーのシンボル施設として位置づけ、リクシル有明工場と協力し、環境学習をはじめとした環境普及啓発事業に取り組んでまいります。

#### 【6】みんなとともに未来へつなぐ協働のあるまち

最後に、『みんなとともに未来へつなぐ協働のあるまち』といたしまして、町民の皆様と行政の信頼関係を築き、健全で開かれた財政運営によるまちづくりに取り組んでまいります。

誰もが参画しやすいまちづくりの推進といたしましては、これまで多くの町民の皆様の声を直接聞き、町民の皆様との意見交換を通じて、一人一人がまちづくりに携わることができるよう、町政座談会や各種団体との座談会を開催してまいりました。引き続き町民の皆様の意見や要望を反映した町政運営を行うため、各種座談会を開催してまいります。

また、地域活動の支援を行っております「活力創出推進事業」につきましては、地域活動の更なる推進を図るため制度内容を見直し、新たに「草刈り支援事業」を創設します。そして、新年度より一区一職員制度として、町職員を行政区ごとに配置し、区と行政を繋ぐパイプ役として、一人暮らしの高齢者などをはじめ、地域の皆様が安心して暮らせる行政区づくりに取り組み、協働のまちづくりの実現を目指します。

人権教育につきましては、長洲町人権教育推進協議会で組織する「就学前教育部会」、「学校教育部会」において、幼稚園、保育所、小中学校の児童生徒及び保護者や民間団体等を対象に、人権問題を正しく理解するために、各種講演会や研修会など学習機会の充実を図り、人権教育研修の充実を図ってまいります。

男女共同参画の推進につきましては、現在30.6%となっております各種審議会、委員会への登用率を40%に向上することを目標に、女性委員の登用を推進してまいります。また、ワークライフバランスの推進に努めてまいります。

職員の人材育成につきましては、「長洲町職員人材育成基本方針」に基づき役職に応じた適切な職員研修を実施し、柔軟な発想と明確なコスト意識を持った職員の育成を図ってまいります。

地域情報化につきましては、先に述べましたとおり、ICTを活用したモデル事業を介護予防拠点施設であります3行政区の公民館において光回線の基盤整備を行い、インターネットとテレビを接続する情報端末を使用して、健康や学習など、様々な分野で実施してまいりました。今年度は、さらにICTの基

盤整備を3行政区拡充し、6つの行政区において、双方向の映像を通じて健康づくりや講演等を開催し、便利で快適なまちづくりを目指してまいります。

また、未来館をはじめ、計画的に各公共施設のインターネット接続の無線化を進めることで、利便性の向上を図り、住民サービスの拡充に努めてまいりますとともに、開かれた町政運営を図るため、新たに構築した文書管理システムを活用し、情報公開制度などと併せた適切な情報管理、運用を図ってまいります。

健全に財政を運営するまちといたしましては、国や県の補助制度を充分活用しながら、限られた財源で最大限の効果が得られるよう、「第5次長洲町総合振興計画」に基づく計画的な財政運営に取り組んでまいりますとともに、財政運営に必要な歳入の根幹である町税等につきましては、長洲町収納対策連携推進会議を中心として、各課連携の下、課税客体の的確な把握による適正課税に努めますとともに、公平・公正な徴収体制を維持し、安定的な財源の確保に努めてまいります。

以上、平成26年度の事業概要につきまして、ご説明させていただきました。

長洲町におきましては、長年、ご苦勞をおかけしました下水道特別会計の赤字が今年度末に解消されます反面、法人税の減収が見込まれるなど、依然として厳しい財政状況にあります。しかしながら、町民の皆様が安全に安心して暮らすことができ、「住みたい・住んでよかった」と思える町をつくるため、限られた財源の中でも、地域に密着した、きめ細かな行政サービスを実現することで、輝かしい未来が見える長洲町をつくってまいり所存であります。

どうか、町民の皆様並びに議員の皆様方におかれましては、今後とも、更なるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます、平成26年度の施政方針とさせていただきます。